

図書館通信 2026年2月号

船浦中学校 図書館 No.32

バレンタインデーにちなんで、2年ぶりに胸キュンベスト本の投票をしました。実生活でトキめいている人、いない人。本の中では誰もがトキめくことができます。投票結果は裏に載せています。

2月後半の図書室は、以下の本を展示しています。

- 胸キュン本・・・ランキングに入った本を並べています。
- ネコの本・・・2/22 ネコの日にちなんで、いろんな棚からネコの本を集めました。
- 新たな未来へ進む君たちへ
卒業、進級するみんなに読んでほしい本をポスターと一緒に並べています。



沖縄県立図書館の本について

空飛ぶ図書館の本を8月まで借りています。(夏休みも読めます) 心の本から小説、エッセイまでいろいろあります。3月に返却する本もあるので、こちらは早めに読んでください。

タイムスリップ 歴史ニュース

1920年2月14日

第1回箱根駅伝、開催

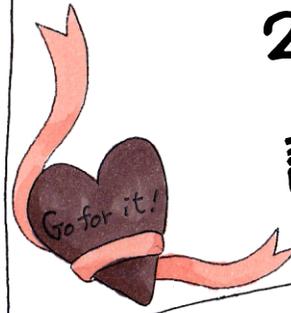
正月の風物詩といわれる「箱根駅伝」。発案者はマラソンの父とも呼ばれる金栗四三で、第1回は、1920年2月14、15日に開催された「四大専門学校対抗駅伝競走」です。当時は長距離選手10人をそろえられる学校が少なく、早稲田大学、慶應大学、明治大学、東京高等師範学校(現在の筑波大学)の4校で競われました。選手たちは、東京の有楽町報知新聞社前から箱根関所跡を往復し、東京高等師範学校が初代優勝校になりました。



©少年写真新聞社2026

2月の読書目標

詩を読もう



二月生まれの つじむらみづき 辻村深月さん

アニメ化・映画化された作品も多く、幅広い年齢層のファンがいます

ゲーム好き。「女神転生」「天外魔境」の大ファン

藤子・不二雄を敬愛しています。ドラえもん大好き

中学生にお勧めの3冊を選びました



瀬戸内海の島に住む4人の高校生が、卒業を前にして進路や島からの旅立ちに悩む話は、西表に住む私たちも共感できます。「鳥はぼくらと」



光る鏡の向こうのお城には、学校に行きたくない悩みを持つ中学生たちが集められていた。最後には前向きになれるミステリー。「かがみの狐城」

日本各地の中高校生たちが、星を見ることで繋がり、一つのプロジェクトに挑みます。コロナ禍を背景にしたさわやかな青春小説。「この夏の星を見る」



胸キュン本を読もう

みんなが選んだ
胸キュンベスト本です



『ストロベリームーン』(芥川なお)
この手の本(余命わずか、純愛、友情など)はたくさんありますが、恋愛小説は苦手という人もピュアな気持ちで読んでみて下さい。本の帯通り泣けます。

2位以下は1冊ずつとバラバラでした。作者では汐見夏衛さん、永良サチさんが人気でした。ちなみに過去のベスト本は『君の瞬臓をたべたい』(住野よる)、『青空エール』(映画ノベライズ)先生方や地域の方に聞いた中では『植物図鑑』(有川ひろ)が第1位



司書のおすすめ胸キュン本2冊

『映画篇』(金城一紀)



表紙が地味で目立たないから、なかなか手にとってもらえませんが、"ローマの休日"という映画をめぐる恋愛短編集。特に最後の『愛の泉』はステキすぎます!

『光のメリーゴーラウンド』(田口ランディ)

誰かを好きになること。純粹に真剣に・・・



この時期だけの切なくて甘酸っぱい気持ちがかたくべたべた感なく描かれていて、俗にいう『胸キュン本』とは一線を画した中学生に等身大の純愛小説!